

エピソードで綴る名物物語

東京国立博物館
名誉会員

矢部良明 著

〈6月刊行〉

四六判・並製・350頁 予価：本体2,700円＋税

「名物」という不思議な魅力を放つ文物にとりつかれた人びと
鎌倉時代に請来された唐物は義満、義政などにより珍重され、信長、秀吉、家康など天下人や戦国武将たちによって名物として継承されるが、わび茶の誕生、町衆の台頭によって、その価値観には微妙な変化が生じ、やがて多様な文物群へと広がってゆく。遠州や不昧によって誕生した中興名物や大名物なども含め、その価値観の変遷とそれを支えた人びとのドラマを解き明かす。

〈目次〉

- 第一章 名物の語源探し
- 第二章 北山殿と東山殿の重宝と御物
- 第三章 名物というレットルと重宝のドンデン返し
- 第四章 桃山武将が懂れた名物
- 第五章 中興名物と小堀遠州
- 第六章 中興名物というランキングの成立
- 第七章 名物の原点に戻ろうという松平不昧
- 第八章 拡大する江戸後期の名物観

《矢部良明の好評既刊書》

エピソードで綴る戦国武将茶の湯物語

利休の茶の湯に対し、武将の側からその推移発展を見たら—— 教養豊かな戦国武将たちによる、「名物」を駆使し、「創意」に満ちたその茶の湯とは、いったいかなるものであったのか。歴史の変遷を背景に、武家茶の湯が扱って立つその立脚点を解き明かす。

●四六判・並製・304頁（口絵20頁） 定価本体2,700円＋税

エピソードで綴る茶入物語 歴史・分類と美学

桃山から近代に至る茶人の歩んできた歴史、窯分類や独特の美学を、さまざまなエピソードを交えながら語る、日本陶磁の権威による「〇〇手」茶入の決定版。巻末には『大正名器鑑』で示した茶人体系図を掲載。全挿図約200点。

●四六判・並製・376頁（口絵32頁） 定価本体3,800円＋税

著者プロフィール

1943年神奈川県生まれ。東北大学文学部美術史科修了。東京国立博物館工芸課長、郡山市立美術館館長を経て、現在、人間国宝美術館館長、東京国立博物館名誉館員。
主な著書に、『千利休の創意 冷・凍・寂・枯からの飛躍』（角川書店 1995）、『古田織部 桃山文化を演出する』（角川書店 1999）、『武野紹鷗 茶の湯と生涯』（淡交社 2002）、『茶人豊臣秀吉』（角川書店 2002）、『茶の湯の祖 珠光』（角川書店 2004）、『武将茶人 上田宗箇』（角川学芸出版 2006）、『エピソードで綴る茶入物語』（宮帯出版社 2011）、『エピソードで綴る戦国武将茶の湯物語』（宮帯出版社 2014）、編著に、『角川日本陶磁大辞典』（角川学芸出版 2011）など多数がある。

●ご注文・お問い合わせは

注文書	
書店(帳合)印	様
担当	発行
注文数	冊
注文数	冊
書名	発行
エピソードで綴る茶入物語	株式会社 宮帯出版社
ISBN978-4-86366-813-3	京都市上京区真倉町七三九-1
TEL075-441-7747	FAX075-431-8877
定価 3,800円＋税	TEL075-441-7747
年 月 日	FAX075-431-8877

注文書	
書店(帳合)印	様
担当	発行
注文数	冊
注文数	冊
書名	発行
エピソードで綴る名物物語	株式会社 宮帯出版社
ISBN978-4-8016-0013-3	京都市上京区真倉町七三九-1
TEL075-441-7747	FAX075-431-8877
定価 2,700円＋税	TEL075-441-7747
年 月 日	FAX075-431-8877

株式会社 宮帯出版社

〒602-8488 京都市上京区真倉町739-1 www.miyaobi.com
TEL. (075) 441-7747 FAX. (075) 431-8877